

## 既習内容や生活経験を活用して考える児童の育成

### 第6学年単元「土地のつくりと変化」

佐賀市立神野小学校 教諭 渡辺 剛史

#### 1 本研究の主張点

本単元の授業に取り組むに当たり、既習内容（流れる水のはたらき）や生活経験（新聞やニュース）から考えることができるようにした。予想の段階でどうしてそう思うのか根拠をもって理由を書くことができるように、事前にどのような実験をしたかやニュースの話題などを取り上げた。しかし、普段の生活の中で授業に関連している内容を経験したり、していなかったりするためなかなか自分の考えを持ってない児童もいる。そこで、1時目に全体で話をする事で情報を共有し、興味をもちやすくすることで、実験や観察に進んで取り組むと考えた。

既習内容やモデル実験が既知のものとして児童に身に付くことで、土地のつくりや変化を考えやすくなるための手段や予想、まとめの段階に役に立つと考える。


#### 2 単元計画（全11時間）


次	時	主な学習活動
1	4	土地をつくっている物（本時）
2	2	地層のでき方～流れる水のはたらき～
3	2	地層のでき方～火山のはたらき～
4	3	火山活動や地震による土地の変化

#### 3 本時の目標

身の回りの土地の様子やその中に含まれている物、土地の変化、土地の変化と自然災害との関係などに興味・関心をもち、自ら土地のつくりと変化の様子を調べようとする。

#### 4 授業の実際

主な学習活動と児童の反応	具体的な指導および留意点
1 学習問題を確認する。	
2 学校の地層の下はどのようなになっているのだろうか。 ・硬い土や柔らかい土が入っていると思う。 ・前に土を掘った時、下の方が硬かった。 ・畑の土を掘った時はずっと同じ土だったから、変わらないんじゃないかな。 ・友達の絵と比べるといろいろな考えがある。	○まずは、自由に自分の考えを描いてみるように伝える。 ○なかなか描けずにいる児童には、生活経験から想像してみるように助言する。 ○身近な場所について考えることで、主体的に学習を進められるようにする。 

<p>3 いろいろな地層の写真資料を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像していたものとは全然違うな。</li> <li>・縞模様になっているよ。</li> <li>・色が違うよ。</li> <li>・違うものでできているのかな。</li> <li>・土に石が混ざっているよ。</li> <li>・場所が違っても似ている地層が多いな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○縞模様がきれいに見られる地層の写真を提示する。</li> <li>○自分の描いた絵との違いを比較させる。</li> <li>○「地層」という言葉を確認する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>4 どうやって地層ができたのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして色が違うのかな。</li> <li>・雨や川などの水で土が運ばれたのかな。</li> <li>・火山の噴火で島ができているのを見たことがあるよ。</li> <li>・火山灰も関係あるのかな。</li> <li>・海が関係しているのかな。</li> <li>・5年生のころに学習した流れる水のはたらきで土が運ばれていたよ。</li> <li>・学校の下は、本当は、どうなっているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5年生の学習（流れる水のはたらき）を振り返るなど、既習内容を生かせるようにする。</li> <li>○生活経験やニュースなどからも考えられるように助言する。</li> <li>○友達のを考えを聞き、自分の考えを広げられるようにする。</li> </ul>
<p>5 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に地層をつくっている土を観察したら、何かわかるかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察や実験、資料を集めて調べる必要性に気付かせる。</li> <li>○今後の学習の流れや何を調べたいのかをはっきりとさせる。</li> </ul>

## 5 考察

導入の段階で、身近な「学校の下はどうなっているのか」考えたことで、児童に興味・関心をもたせることができた。また、生活経験の乏しい児童にも情報を共有することで2回目、3回目の授業で、自分の予想を理由まで含めて書くことができた。1単元の内容だけではなく、これまでの学習と結びつけて考えることの大切さも理解できた。

実際に見ることが難しい地面の様子や長い年月をかけて作られる地層のように、実際に目にすることが難しい単元では、モデル実験や図などを使い、説明の在り方を工夫する必要がある。